

平成 30 年度 日本建築士会連合会 全国まちづくり会議

## 『福祉まちづくり部会』行動計画 2019 (案)

## 1. 福祉まちづくり部会 協議会

平成 31 年 2 月 1 日 10:00~12:00

会場 神戸市御影公会堂 203 会議室

**出席者** 部会長 中村正則／徳島士会  
 川口孝男／東京士会 村松徹也／京都市会  
 岩浦厚信／宮崎士会 市川真理／滋賀士会  
 永田美代子／群馬士会

中村英雄／福岡士会 田中隆一／島根士会  
 筒井昌美／沖縄士会 持田美佐子／熊本土会

△本多 健／埼玉士会 △相田幸一／新潟士会 △坪倉菜水／島根士会 △青木勝信／佐賀士会  
 △寺岡春恵／奈良士会 △八木景子／兵庫士会 △河村 勝／徳島士会 (△分科会から参加の方)

## 2. 福祉まちづくり部会の基本方針

**目的・目標**……………(福祉分野の建築士を育てる)

福祉分野における建築士の社会的役割・職能の明確化と、全国建築士その他関連する専門家等との連携・結集により、建築士の福祉分野への理解を深め、福祉のまちづくり、住まいづくりなどに対応できる人材を育て「国民」に必要とされる福祉分野の建築士づくりを目指す。

**目指す方向**……………(2つの方向)**1. 「やさしい住まいづくり」**

高齢者の居住環境整備に関して、建築士の身近な地域での活動の一つとして、町医者的な建築士として、様々な専門家と連携して高齢者等の住宅改善に対応できる人材の育成を図る。当面のテーマとして 2025 年を目処に国が進めようとしている厚生労働省の地域包括ケアシステムに関し、各建築士会での体制構築と専門家との連携、人材派遣に対応できる人材の育成を積極的に行いたいと考えている。

**2. 「やさしいまちづくり」**

住居以外の全ての建築や交通・情報等の都市インフラ、またそれらに関わる活動を対象とし、2020 の東京オリンピック・パラリンピック及びレガシーに関するバリアフリー、ユニバーサルデザインを視野に、当面の活動として全国各地共通のテーマで取り組みやすい『観光バリアフリー』についての取り組みを開始したいと考えている。

## 3. 今年度の行動計画について……………(丁寧な土壌作りをして綺麗な花を育てる)

## ① 連合会・ブロック委員・全国 47 地域リーダーとの緊密良好な関係に基づく体制を確立する。

・連合会、福祉まちづくり部会長、各ブロック長(副ブロック長:相談役)、47地域リーダーの体制がほぼ確立できましたが、現状、緊密良好な関係とは言いがたい状況で、今後、どのようにすればスムーズに出来るかを皆さんと協議して、進めていきたいと思っております。皆さんからのご提案、よろしくお願いいたします。部会長とブロック長の体制を核に、企画・運営、役割分担などが出来れば良いのかと思っています。

## ② この分野に取り組む隠れた建築士を探し出し、活動への参加を促し、より強力な体制を整える

・全国大会、全国まちづくり会議等に参加された方には、受付で一覧表に名刺を貼って頂き、福祉まちづくり部会のメーリングリストに加え、情報提供、情報交換、活動参加への案内等を行い、47地域リーダーのみならず、より積極的な建築士を抜擢し、福祉まちづくり活動を強力に広めていく。

② 日頃から建築他、様々な専門家との情報交換・交流により共有認識や信頼確保に努め備える。

- ・現在、連合会や部会長、47地域リーダーの皆さんからの情報が伝えられていますが、ありがたいと受け止める方がある一方で、迷惑メールに近い状況にある方もいると思われます。うまく情報提供が出来る方法を検討すべきだと考えます。(東京士会の川口さん他の皆さまからのご提案の検討・実現を！)
- ・現在活用されている『facebook／福祉まちづくり部会』では様々な情報が届き、各地の活動を知ることが出来る良いツールになってきました。見た方は感想やアドバイスを書き込むことで、励ましや気づきから共有感を持てる良いきっかけになればと思います。控えめにせず、【ひと言】を送りましょう！

④ 近隣士会やブロック内での情報交換や交流、共同の取組みにより、相互の継続性や活発化を図る

- ・各ブロック長から地域リーダーにメール送信して頂きたい(情報提供、顔合わせ交流会の提案・実施)
  - ・各建築士会と隣接士会との顔合わせ交流会を考えてみて下さい(お互いの地で飲み会からでもOK！)
  - ・ブロック委員の役割の再確認(ブロック内に情報伝達、意見とりまとめ、刺激により活動を促す。)
- 【活動例】東京士会、神奈川士会の埼玉士会のメンバーが連絡し合ってお気軽に集まっているようです。

⑤ 他の部会(歴史・景観・防災・空き家)との連携での取組みも視野に活動を！

- ・連合会三井所清典会長より、以下のご提案を頂きました。  
『既にご存知かと思いますが、東大教授で本会の理事でもある松村秀一先生の新しい本が出ました。朝日新書で「空き家を活かす・空間資源大国ニッポンの知恵」です。その中に福祉施設のシェア金沢をつくった社会福祉法人仏子園の仕事で廃寺を福祉施設に転用した話が紹介されています。場所は石川県小松市野田町。西圓寺という廃寺をコンバージョンしたもので境内に温泉を掘り、本堂をカフェに変えているとのこと。石川県のメンバーに調査してもらい全国に発信してもらったらいと思います。如何でしょうか』  
ご提案を受け、目下、福祉まちづくり部会 石川士会リーダーの西雄司さんに確認をお願いしています。
- ・このような、福祉と空き家・歴史・景観・防災等のまちづくり部会との連携も意識しながら、今後の活動に広がりを持たせられれば、より素晴らしいものになると思われまます。

⑥ 『全国大会』・『全国まちづくり会議』を福祉まちづくり部会関係者の貴重な結集の場と捉える。

- ◆平成 31 年度 全国大会・函館大会における福祉まちづくり部会の予定について(未確定の想定案)  
9/20 15:00～16:30 福祉まちづくり部会 47地域リーダーの皆さんとの協議会  
17:00～ 懇親会 47地域リーダーの皆さんとの交流・懇親会  
9/21 10:00～12:00 福祉まちづくりセッション テーマ 『観光バリアフリー』  
活動報告、講演(国土交通省？+ ?)、フォーラム・ディスカッション  
★福祉まちづくり部会の予算(謝金・交通費)が必要

観光バリアフリー／各地情報 皆さんの身近な観光バリアフリー情報を収集してみてください

カムイ大雪バリアフリーツアーセンター 秋田バリアフリーツアーセンター 山形バリアフリー観光ツアーセンター  
仙台バリアフリーツアーセンター 福島バリアフリーツアーセンター 伊豆バリアフリーツアーセンター  
石川バリアフリーツアーセンター 伊勢志摩バリアフリーツアーセンター 広島バリアフリーツアーセンター  
松江・山陰バリアフリーツアーセンター 四国バリアフリーツアーセンター バリアフリーネットワーク九州会議  
大分バリアフリー観光センター 佐賀嬉野バリアフリーツアーセンター 鹿児島バリアフリーツアーセンター  
沖縄バリアフリーツアーセンター(移動のバリア、言葉のバリア、情報のバリア、心のバリアを取り除く)

◆全国まちづくり会議の予定について(H32. 2月?日(金)?日(土) 2日間 会場/東京?)

- 第1日目 10:00～12:00 福祉まちづくり部会/協議会(H32年度の計画等について)
- 第2日目 福祉まちづくり分科会/テーマ:高齢者の住まいづくりの取組み/活動報告+フォーラム  
『47地域リーダーの皆さん、一歩前に踏み出そう!』  
活動準備中、活動開始したい士会は、どのようにすれば良いか・・・?  
ブロックの活動、近隣士会との交流、単位士会での活動は?

【活動例】新潟士会では平成 31 年 1 月 18・19 に徳島士会の福祉まちづくり活動(徳島市リフォームヘルパ

制度や鳴門市ユニバ<sup>®</sup>-サル点検会活動)の視察・研修・交流のため 3 名が訪問。

⑦達成すべき目標の実現に向け、国や行政に対し協力要請や要望書の提出等を積極的に行う。

【提案】『福祉まちづくり活動』のチラシの作成……全国士会、国・県・市町村窓口等で配布  
やさしい住まいづくり(地域包括ケアシステムにおける建築士の役割、取り組み事例)  
やさしいまちづくり(観光バリアフリーにおける建築士の役割、取り組み事例)  
★福祉まちづくり部会の予算(印刷費)が必要

⑧地域住民や国民に対し、福祉の知識を身につけた建築士について積極的にアピールを行う。

【提案】『福祉まちづくり建築士』のチラシの作成……全国士会、国・県・市町村窓口等で配布  
やさしい住まいづくり(高齢者の住宅改善のアドバイザー派遣、講師派遣、無料相談会)  
やさしいまちづくり(観光バリアフリー等のアドバイザー派遣、講師派遣、無料相談会)  
★福祉まちづくり部会の予算が必要

#### 4. 平成 30 年度 全国まちづくり会議／神戸の 福祉まちづくり分科会について

福祉まちづくりの課題・テーマとして、国のバリアフリー法・全国自治体の福祉のまちづくり条例の方向性、条例にかからない身近な小規模店舗や施設、新たな分野（ハードからハートへ、観光バリアフリー、ボランティア、インバウンド、国際化等）、そしてこれらを実現するため自治体と多様な人達、建築士他が連携で取り組むやさしいまちづくりの推進について語り合いたいと思います。

同時に、今回の全国まちづくり会議の福祉まちづくり分科会では 今年秋の全国大会函館大会の序章として全国建築士にバリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり分野に新たなテーマの紹介として【観光バリアフリー】について伝えられる場にできればと考えています。

活動報告では京都市会の村松徹也さんと宮崎士会の岩浦厚信さんに関連の活動報告を頂き、島根士会の田中隆一さんからは松江／山陰バリアフリーツアーセンターを運営していると言うことで観光バリアフリーについてお話しをさせて頂きます。

◆全国まちづくり会議 2月2日 福祉まちづくり分科会 スケジュール / 御影公会堂303集会室

---

a m 9:30～ 説明 ー ー ー 10分(中村部会長)  
a m 9:40～ 各地からの関連活動報告(5分×2事例)ー ー ー 10分(村松さんと岩浦さん)  
a m 9:50～ 松江／山陰バリアフリーツアーセンターの紹介ー ー ー 10分(田中さん)  
a m 10:00～ 神戸市のBF・UDの紹介ー ー ー ー ー 20分(★神戸市役所 井垣様)  
a m 10:20～ フォーラム・ディスカッションー ー ー ー 40分

---

神戸市役所の井垣様には「(仮)神戸市の病院施設におけるBF・UDとその課題」と題して、自ら建設に関わられた新中央市民病院と最近完成した神戸アイセンター(iPS細胞を用いた角膜の再生治療を実施)をご紹介して頂きます。フォーラムディスカッションでは、中村部会長のコーディネートで、村松さん岩浦さん、田中さんに登壇して頂き、オブザーバーとして井垣様に加わって頂きます。